

夏を彩る新庄夜市



 きたひろしま

# 議会だより

vol.5

2006. 8. 18

第2回定例議会(6月20日～6月28日)	..... P2
平成18年度一般会計予算(補正第1号)	..... P2
一般質問 15議員が町政を問う	..... P3～P7
条例・発議	..... P8
反対討論・賛成討論	..... P8
追跡レポート	..... P9
委員会報告	..... P10～P11
傍聴記・意見箱	..... P12

# 一般会計予算

企業誘致等  
事業費を  
含む。

補正第1号

全員賛成で  
可決

7,000万円を追加して

## 145億7,000万円に

(千円以下切捨て)

歳出科目	補正額	年間予算
議会費	▲ 475万円	1億2,713万円
総務費	5,748万円	18億5,975万円
民生費	▲ 2,348万円	22億7,635万円
衛生費	▲ 431万円	8億1,405万円
農林水産業費	▲ 2,119万円	14億6,804万円
商工費	1,820万円	1億 759万円
土木費	2,969万円	10億6,599万円
消防費	464万円	6億1,041万円
教育費	545万円	14億2,294万円
諸支出金	▲ 604万円	17億4,441万円
予備費※	1,431万円	3,346万円

※氏神工業団地へ企業誘致した喜楽鋳業株式会社から2,000万円の一般寄付金があり、1,000万円は周辺整備のため壬生地区協議会へ助成され、残る1,000万円はとりあえず町の予備費に組み込まれています。



- 国民健康保険特別会計（補正第1号）…… 900万円を減額して22億 100万円に
- 老人保健特別会計（補正第1号）…… 2,556万円を追加して32億1,556万円に  
（補正第2号）…… 1,943万円を追加して32億3,500万円に
- 農業集落排水事業特別会計（補正第1号）… 100万円を追加して4億1,200万円に
- 介護保険特別会計（補正第1号）…… 2,900万円を追加して22億8,900万円に
- 診療所特別会計（補正第1号）…… 600万円減額して1億8,600万円に

どうなる？  
私たちの  
町づくり

# 町政を問う

一般質問

行政

問 新町建設計画と集中改革  
プランの整合性について

新町建設計画と集中改革  
プランの整合性について

答 新町建設計画など  
進捗調整が必要



松田 実

問 合併協議会の「サー  
ービスは高く負担  
は軽く」の基本認識はど  
うか。

新町建設計画の平成  
二一年までの歳入歳出  
は八二〇億円であるが  
集中改革プランでは歳  
入七二一億円、歳出七八  
八億円で六七億の歳入  
不足。改革によって四五  
億余りへの圧縮を予定。  
町債八〇億円の減、合  
併支出金十六億円の減  
で合併効果が大きい。計  
画変更の住民説明を。

答 今年の予算で急  
激な財源不足が生  
じた。基本認識通りには

ならない面もある。

国の三位一体改革で  
歳入に大きな変化があり、  
行財政改革の中間まと  
めで、平成二二年度まで  
の財政規模をまとめ社  
会資本や行政サービス  
の充実を目指す。

新町建設計画など事  
業の進展調整を行う中、  
内部経費の削減や定員  
の適正管理など効率的  
行政執行に努める。

## 地域バス交通

問 交通弱者をつく  
らない地域づくり  
と高齢者運賃半額制度  
廃止での負担緩和策を。

答 昼間は乗合タク  
シー導入による利  
便性の向上を図り、半額  
制等地域の実態を含め  
て検討する。

行政

問 小泉改革(骨太の方針)で  
地方自治に更なる困難が

地方自治に更なる困難が

答 苦しい地方財政を国が理解



亀岡 章 治

問 地方分権の名の  
もとに町村合併が  
進む中、倒産寸前の町が  
急増している。地方自治  
の存立に関わる重大な事  
態。見解を問います。

① 国の骨太方針をどう  
受けとめているか。  
② 新型交付税案の北広  
島町財政への影響は。  
③ 地方の財政難、地元  
国会議員との連携は。  
④ 地方交付税の来年度  
減額はないといえるか。

答 ① 国の財政再建  
のみのため進めら  
れており、地方として遺  
憾である。

② まだ具体化されてい

ないが、人口比率八割は  
歓迎に値しない。

③ 町村会等地方六団体  
で地方の事情を強力に  
訴えている。地元国会議  
員にも事あることにお  
願ひしている。

④ 骨太方針でも、行政改  
革に努力している町村  
に配慮すると言っている。  
今年度並と思えます。

## パーク施設の 活用は緊急

問 パークホテルが  
閉鎖して約一年、民  
間まかせは将来が心配。  
行政の努力で住民の心  
配のない有効な活用を。

答 債権者の銀行と  
も協議し競売を急  
がないよう申し入れてあ  
る。有効活用が出来るよ  
う最善の努力を続けます。

行政

問 バイオマスタウン構想の策定は

策定委員会を設置して



中村 勝 義

問 新規事業のひと  
つにこの構想も包  
含した地域新エネルギー  
ビジョンの策定があ  
ります。幸いにも当町に  
はバイオマスは豊富に  
あります。これらをゴミ  
と考えるか、資源とする  
かです。発生から利用ま  
でを総合的なプロセス  
で結び、早期に利用シス  
テムを構築することこ  
そが、持続可能な循環型  
社会の形成につながる  
と思われませんが、どうお  
考えですか。

答 策定事業補助金  
交付申請の手続き  
をそれぞれ行っており  
ます。交付決定は七月  
中旬となる予定です。補  
助金交付決定後においては、  
バイオマス資源を含め  
た調査、分析を専門的技

術・知識を有している外  
部へ業務委託を行い、各  
種調査の内容検討など、  
策定委員会での協議し実  
効性のある構想の策定  
を行っていきます。

## 農業ビジョンの調整は

問 大きな政策転換  
を来年度に控え、  
差異のある四地域の農  
業振興策の調整が必要  
ではないか。

答 経営安定協議会  
においての提言を  
基に、地域の特性を活か  
した振興方針を策定し  
ます。

## 夏休みの児童クラブは

問 春休みの放課後  
児童クラブは待機  
者が出ました。夏休みは  
これの解消が必要では  
ないか。

答 三五名を四五名  
とする定数条例の  
改正を行い、夏休みの受  
入れに万全を期します。

行政

問 平和行政の推進について

答 今後とも取り組む



梅尾 泰文

問 昨年、六月北広島町は「非核三原則の遵守を願う」とも、恒久平和を求め、ここに非核平和宣言をする。」と宣言しております。

そこで、被爆者の生活実態や、検診状況、被爆体験の継承などの取り組み、そして当町での平和式典開催の考え方、また神奈川県横須賀市長の原子力空母配備容認発言についてお聞きします。

答 講演会やパネル展など行っています。被爆者検診、被爆二世検診は広島県が行っています。被爆体験は語り部の方に来ていただき行いました。

北広島町としての平和記念式典は状況をみていきます。横須賀市長

発言はむずかしい問題です。

反核平和の火リレーは引き続き関わりを持ちます。

地域通貨「ユート」について

問 四月からスタートした「ユート」の利用状況や取扱店、消費者の声をお聞きします。

答 取扱加盟店二百店、発券枚数二万一千枚、換金二五〇万円ぐらいです。宣伝に努めます。

介護予防事業について

問 「いつてみよう会」が廃止になり、元気高齢者のいきがい対策の再考を求めます。

答 元気高齢者の方の「いきいきサロン」、老人会等に参加ください。



指定管理者制度について

問 千代田運動公園と宿泊施設「アザレア」の公募、決定基準をお聞きします。

答 平等な利用体制、施設の有効活用、経費の縮減など総合評価で決めています。

行政

問 行財政改革は町民の目線で

答 改革は住民と共に進める。



高原 和彦

問 行財政改革は必要ですが、国・県からの押し付けになってはならない。町民の目標で改革を進めていただきたい。具体的には、どうなっていますか。

①改革担当課は住民の立場で改革を進める。  
②パブル時代のムダがまだ残っていないか。  
③高齢者のイタミとなっていないか。  
④少子化対策はどうか。  
⑤九〇余りの補助団体の指導はどうか。

新町まちづくりは万全か

問 旧町名がそのままだと使われてはいませんか、改めて確認が必要では

答 各支所と連携して旧町名による表示をチェックし、新町に改めます。

福祉

問 少子化問題について

答 次世代育成支援行動計画に沿って進める



日山 静樹

問 日本の出生率一・二五人、国も少子化に歯止めをと論議しているが、この問題をどのように捉えているか。町としての施策は。生みたくても生めない状態にどう対処しますか。

答 援対策の充実を図るか行政課題である。本町も「次世代育成支援行動計画」の計画に沿って進めて行きたい。保育所は〇歳から受け入れ、第三子以降は無料、幼児一時預かり、病後児保育のスタート等、多角的に行っている。安心して子どもを生み育てることの出来るまちづくりを目指します。

地域商業活性化について

問 商店街が衰退しつづめる。歩いて買物が出来る商店街に向けての支援は。

答 地元になくは商店街の今後のあり方を商工会と連携をとりながら考えてゆく。

地域通貨「ユート」の販売状況は

問 使用できる店舗等町民にPR不足ではないか。また、住宅建築費助成の状況は。

答 現在二百店舗、売上も一〇二万八千円と順調に伸びている。住宅補助は三件の認定を行い、一件補助金の交付をした。



**問** 人口減少による学校の小規模化、学校改革のための財政効率化はどう考えているか。

**答** 本町には小規模学校が多くある。二〇人規模のクラスが必要と理解している。適正規模・適正配置を考慮する時が来ていると考えている。

## 教育

**問** 不登校児童生徒への取り組みの成果は

**答** 信頼関係が強まってきた



藤田 重昭

**問** 昨年六月の定例会で「不登校児童生徒の実態」「教育委員会の支援や指導」「今後の方針」等、教育行政としての取り組みについて質問しました。

一年が経過した今、教育委員会として、どのように実態を分析し、それをふまえてどのような支援や指導・取り組みをしてきたのか。この一年間の成果と課題について伺います。



## 教育

**問** 食育の充実について

**答** 学校・家庭・地域での推進を図る



宮本 裕之

**問** 昨年七月に施行された食育基本法は、食育を知育・徳育・体育の基本として位置づけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てることを定義しております。食に関する意識が不足し望ましい食生活を実践できないことが多い現在、食育の推進が重要と考えます。今後、本町において食育をどのように充実させていくのか伺います。



学校給食の様子

家庭・地域においては、一四〇人の食生活改善推進員の協力を得て、生活習慣病の予防や、健全な食生活の推進に取り組んでまいります。

**問** 住宅用火災警報器の設置について

**答** 住宅用火災警報器の設置推進と、設置補助の考えを伺います。

設置については、広報や火災講習会で推進を促しており、補助については、近隣自治体の動向も見て検討します。

## 教育

**問** 小中学校の統廃合について

**答** 今秋までに検討委員会を立ち上げ推進する



藤井 勝丸

**問** 行財政改革審議会は回を重ね、行財政大綱及び集中改革プランについて審議されています。小中学校の適正配置統廃合を計画されていますが、適正規模・配置とは、また、どのような手順でいつごろを目標に進めようとしているのか伺います。

ある。  
今秋までに検討委員会を立ち上げ、遅くとも来年度初期には答申を受けたい。

**問** 通学区の弾力化・自由化について

**答** 目的・成果が期待できるのか。  
選択することが出来る、特色ある学校づくりに努め、選ばれる学校を目指し、成果を期待している。

**問** 中学校のクラブ活動の重要性について

**答** 体力増進や健康生活を楽しく学び、将来にわたって親しむスポーツを見出すために重要であると考えている。  
充実を努める。



産業

問 中山間地域の挑戦は若者の定住促進とと思うが

答 地域住宅交付金制度の活用を考える



真倉 和之

付金制度があります。この制度の活用について北広島町としてどのような提案ができるのか、県とも連携し研究をしてまいります。

問 公共事業と今後の入札制度のあり方

答 建設計画により進められる公共事業は町民の税の負担です。今後の入札制度の改革を伺います。

問 建設計画により進められる公共事業は町民の税の負担です。今後の入札制度の改革を伺います。

答 地元事業者の保護、育成も考え、一般競争入札・電子入札・予定価格公表等改善が必要と考えます。

問 づくりは、子どもの声が聞こえる若者定住促進の取り組みです。来年からの経営安定化対策は、国が農家を選別する時代。担い手政策が農村に何を招くか心配です。地域通貨で住宅建築費の補助申し込みは中心部に偏り、均衡ある町づくりを進める住宅政策で、町の保有する土地に若者が帰りたい、住みたい町となる定住促進の方策を伺います。

答 地方公共団体の自主性と創意工夫を活かした、住宅の整備や居住環境整備など、地域の暮らしをトータル的に支援するという、国土交通省の地域住宅交

産業

問 新町の農業政策はいかに

答 年内に新農政を確立



杉本 武信

①本町の農業政策は合併してなお旧町のままとっている。い

つどのように調整しますか。四地域はそれぞれ地域の条件を活かして懸命に取り組んで来ま

した。今後とも、地域ごとに農家が参加して取り組む体制が適切と考えるがどうですか。

②国は支援の対象を大型農家や法人に限る農政を打ち出しました。これに不安を感じている農家がありますが、本町としてどう考えますか。

答 町になったので、町として農業政策の基軸を確立し、それぞれの地域の条件に応じた農業の振興を図ります。具体

①西日本一広い

的には経営安定対策協議会を立ち上げ、そこで地域水田農業推進協議会の再編、振興対策等を議論していただき、年末までにまとめます。

②国の目指す農業についていけない農家には当面の対策を考え、流通・消費に至るまで自立可能な農業の発展に取り組みます。

農業改革推進室を主体に八地区で取り組まれています。法人設立には初期投資も多く、財政的支援は欠かせません。本町の支援はもちろんですが、国、県の支援の活用を問います。

答 経営体の育成については、国、県の制度を有効活用します。

①集落リーダー育成事業

本町六地区

②集落営農育成事業

機械・施設導入補助

③集落法人育成加速化

産業

問 担い手対策・国・県の制度活用について

答 国・県の制度を有効活用する



大石 敏之

中山間地の農業・

零細な農業構造を抜本的に改善するため効率的、安定的な経営が可能に担い手を育成する事が求められています。

農業改革推進室を主体に八地区で取り組まれています。法人設立には初期投資も多く、財政的支援は欠かせません。本町の支援はもちろんですが、国、県の支援の活用を問います。

答 総合学習等の中で、学校と家庭、地域が結びつき、作る食べるの体験を通じて元気な学校づくりを進める。

問 食農教育の取り組み状況について

答 総合学習等の中で、学校と家庭、地域が結びつき、作る食べるの体験を通じて元気な学校づくりを進める。

問 食農教育の取り組み状況について

答 総合学習等の中で、学校と家庭、地域が結びつき、作る食べるの体験を通じて元気な学校づくりを進める。



農業散布



学校給食



**問** 本町には豊平・千代田地域に道の駅が整備され、都市住民との交流拠点として順調に実績を伸ばしつつあるが、共に産直市場をはじめ手狭な状況になっている。手狭となったこの施設の整備拡充により、本町の農業・観光の振興、またこれを起爆剤に交流人口の拡大を図り、町全体の活性化を



信 芳 升 蔵

**答** 「舞ロードインター千代田」については新町建設計画において、「産直市場」あるいは「伝統芸能の館」の整備が計画されている。また本町の玄関口として農産物の集出荷の拠点となるべき、極めて有望な立地にある。新町建設計画に盛り込まれた計画をベースにし、有効な対策・活用について現在検討を行っているところです。

道の駅舞ロード千代田 産直市

産業

**問** 道の駅整備拡充を問う

**答** 整備拡充を検討中

図ることが必要と思うが、お考えを伺います。

**答** 「舞ロードインター千代田」については新町建設計画に

産業

**問** 建設残土の処分地は

**答** 適地の有無を含め検討する



幸 久 藤 伊

**問** 公共事業等から出る建設残土の処分地は慢性的に不足している。一方で町外業者によって残土不法投棄とも思える行為が原因で地域住民との確執が生じ、地元業者への不信感を助長している。不信感を払拭する上でも早急に抜本策を打ち出すことが肝要。賢明な打開策を問います。

**答** 残土処分に当たっては、設計書に基づき請負業者の責任において適法に行うのが通例である。町の未利用地有効活用のために調査を進めているが、開発については地元行政、関連する他法例等のクリアなど困難が予想されるので、残土処分地としての適地の有無を含め慎重に検討をかさねます。

**問** 土地開発公社の処遇は

**答** 当公社はここ数年間機能していないが、今後の処遇は、また所有地の売却は、有効活用を視野に入れて価格だけでなく業者を選定してはどうか。

**答** 先行取得した用いた有効活用を随時行いながら公社の存続について考えます。



土地開発公社の未利用地

産業

**問** 農地の貸しはがしについて

**答** 防止策を考えていく



晴 芳 田 浜

**問** 農業をリタイアされた農家の農地は、今まで大型農家が守ってこられました。平成十九年度から始まる担い手対策では、法人と認定農家が共存していかないと守っていくことが出来ません。

**答** 農業者委員会の調査で、現在までは農地の貸しはがしは無かった。平成十九年度から始まる担い手対策で、現在八ヶ所の法人化が計画されています。今後はおこりうる予想され、地域の話し合いが必要です。

**答** 農業者委員会の調査で、現在までは農地の貸しはがしは無かった。平成十九年度から始まる担い手対策で、現在八ヶ所の法人化が計画されています。今後はおこりうる予想され、地域の話し合いが必要です。

町と農業委員会で法人と認定農家の調整をして、防止をしていきたいと思います。



# 条例・発議

## 条例改正

## 可決

- 一、北広島町消防団員の定員、任免、給与、財務等に関する条例の一部を改正する条例
- 二、北広島町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例
- 三、北広島町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 四、北広島町税条例の一部を改正する条例
- 五、北広島町環境保全に関する条例の一部を改正する条例
- 六、北広島町放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

## 条例・規約・定款

## 可決

- 一、からしろ館設置及び管理条例
- 二、山県西部消防組合規約の変更について

## 発議

## 採択

- 三、北広島町土地開発公社定款の変更について

「地方の道路整備の促進に関する意見書の提出について」

- 一、受益者負担という制度趣旨に則り、道路特定財源の使途については道路利用者や国民の意見を適切に反映し、道路整備を強力的かつ効率的に推進するために必要な予算を確保すること
- 二、安心安全な生活の確保や経済活動の発展を支えるため、地方の遅れた道路整備を推進すること
- 三、高速道路のさらなる有効活用により、一般道路も含めた道路全体の渋滞や沿道環境、交通安全問題の解決を図るため、ネットワークの早期整備、アクセス道の充実強化、弾力的な料金設定などを進めること

内閣総理大臣 小泉純一郎様

## 賛成討論

## 反対討論

### 財産の取得について

平成十七年度において、予定価格七〇〇万円以上の動産の購入契約を締結した五件について、本来議会の議決に付すべきところ、議決を得ないまま契約を締結したため、追認の議決を求めるもの。

### 反対討論

松田実 議員

この議案を否決した場合、損害賠償問題が生じて、その結果、町に多大な損害賠償責任が発生することになることであり採択すべきであるが、法令順守の立場にある執行機関としての重大な瑕疵であり、その点を明確にする必要があり、この議案には反対である。

特別職の職員の給与の特例に関する条例について

上記の議案の責任を取り、特別職の給与を減額するものとする。

### 反対討論

中田節雄 議員

本事業は、合併直後の混乱期に起きたことであり、旧町の事務処理から脱皮しきれていない単純ミスでもある。人社会の中で、ミスは起こりうる。ミスを見逃ごすことはできないが、今回のようにいち早く発見し、今後の対応に繋げることが重要である。何でも処分すれば事が足りると考えるのは早計であり、本議案には反対である。

### 賛成討論

松田実 議員

行政執行機関の不適切な運営に対する特別職の給与減額議案であるが給与を減額すれば全てが終わるとの認識とならないためにも、これを契機に全職員が一丸となって、よりよい町政執行体制となることを祈念し、議案に賛成する。

# 追跡レポート

## 子どもへの安全対策は？



### 教育委員会

今年度から「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」によるスクールガード・リーダーを警察OBの方二名にお願いして各学校を巡回し、助言指導していただいています。

### 通学路の安全対策

①通学路の安全対策については、各学校で保護者、地域の皆さんにより危険箇所の点検、改善等の活動を継続していただいています。

### 地域全体の防犯対策

②地域全体の防犯対策としては、町内各地で子どもたちの結成に取り組み、豊平地域ではパトロール用キャップの配布、大朝地域では子どもと大人の異世代交流事業、千代田地域では地域安全会議を開催して情報収集と検討会を行い、防犯組合と協力してパトロールの推進、

また芸北地域では、地域子ども安全会議を開催して組織体制づくりなどを実施しました。

そして「子ども一〇番の家」を点検、新たに四百四十九軒の協力を得ました。

また、山県郡建設業協会加盟の建設会社では、トラックやダンプカーに「動く一〇番」のステッカーを貼り、子どもたちを見守っていただいています。

その他、警察の防犯教室や消防署による安全教室、さらには地域自治会・老人クラブ・女性会・農事組合法人等で声かけ・見守り運動・看板設置等の取り組みや、(千代田)暴力追放協議会・青少年育成推進協議会をはじめ、各事業所により防犯ステッカーを貼付するなど、多方面の協力を得て活動を進めています。

### 不審者への対応

③不審者への対応としては、学校において不審者

が侵入した場合の対応の訓練をするともに、下校時に職員が児童と一緒に歩くよう努めています。

### 防犯グッズ

④防犯グッズについては、子ども全員に防犯ブザー、熊よけ鈴を配布、また校舎にセンサーライトを設置、校内に「さすまた」(犯人を取り押さえるU字型の捕獲道具)「ネットランチャー」(犯人に網を飛ばしてかける道具)を配置しました。

以上、子どもたちが事件事故に巻き込まれるのは都会に限った事ではありません。中山間地の本町としても積極的に対策を進めるとともに、各地域の自治組織で「子どもの安全確保事業」に取り組み、子どもたちを見守っていただきたいと思います。

これまでの定例会で、「児童生徒への安全対策」「危機管理」に関する一般質問が多くありました。議会広報委員会として、質問に対する行政の取り組み状況を町民のみなさんにお知らせする必要があります。と考へ、追跡レポートを掲載することにしました。主な質問の内容は次の通りです。

①通学路の安全対策について

②地域全体の防犯対策について

③不審者への対応について

④防犯グッズについて

行政の取り組み、対応は次の通りです。



元気な子どもたち



# 委員会報告

北広島町議会では、よりよい町政を行うため、三つの常任委員会・議会運営委員会・その他特別委員会等を設けて、活動を行っています。

## 総務常任委員会

〔財〕豊平ふれあい公園協会と協議を行いました。

五月二十五日豊平ウイングに於いて、前年度実績や今年度事業計画の説明を受け、その後意見交換を行う。

## 定例会中の委員会活動

一、陳情審査二件  
意見書提出の陳情書であったが、研究を要する内容のため継続審査とした。

二、各委員会、審議会等の報告  
委員として出席している各種の委員会、審議会（七団体）の現状、方向、確認事項を報告して、総務常任委員の全員が内容を共有した。

三、議案、予算関係（総務所管分）  
関係課の課長、主幹に出席を求めて、議案、予算の詳細説明を受け指摘、要望、意見交換を

行なう。総務常任委員会では個々の思いを尊重し、お互いの意見を闘わして委員会としての結論を求めている。



会議の様子

## 福祉保健常任委員会

視察研修を行いました。

〔六月二十二日〕

- 一、本地のグループホーム「ぎららの里」
  - 二、豊平の特別養護老人ホーム「ゆりかご荘」
  - 三、社会福祉法人太田川学園豊平作業所（知的障害者通所授産施設）
- 〔六月二十三日〕
- 一、南方「建設残土処理」土地開発現場
  - 二、南方畑「グリーンヒルズ」建設残土処分場
  - 三、安芸高田市の「上根産業廃棄物最終処分場」



南方畑「グリーンヒルズ」建設残土処分場



太田川学園（竹炭の生産活動）



知的障害者通所授産施設「太田川学園豊平作業所」

## 産業建設常任委員会

### 協議を行いました。

千代田エリア畑地区「グリーンヒルズ建設発生残土受入れ事業」に関する協定書(案)について、五月二十六日、地元役員及び担当課と協議を行う。

### 定例会中の委員会活動

一、陳情要望三件について審査

二、三月議会で継続審議とした「新分野チャレンジ事業中止に関する陳情」豊平エリア今吉田環境保全会と北広島産業(株)の話聞き、六月二十二日予定地を視察。原点到返った話し合いを指導するよう、県産業建設室に申し入れを行なった。

三、平成十九年度から新たな食料農業農村基本計画による、品目横断的経営安定対策がスタートするため、現在国・県が示している内容に



現地調査(今吉田地域)

つき、担当課に出席を求め説明を受ける。

## 火葬場問題調査検討特別委員会

### 火葬場の問題について

北広島町に於ける火葬場の現状は旧四町それぞれ設置されているが、大朝は邑南町と共同事業である。そのうち芸北、千代田は設置後三〇数年を経過し、老朽化が激しく、特に千代田火葬場については、早急な改築が必要であり、議会としても十二月定例議会に於いて、特別委員会を設置し、今日まで現地調査を含む研究協議を重ねてきたところであり、中間のまとめとして以下町長に具申した。

一、行政効率、広域行政論もあるが、合併新町として本町内への設置を望む。

二、将来北広島町火葬場設置構想として、一箇所論もあるが、町の広さ、積雪等考え二箇所論も多い。

三、町民感情、財政事情、将来性等考慮し、当面千代田火葬場の早期改築を求める。



火葬場(芸北地域)



議

# 会傍聴記

豊平地区 沖野 芳

六月定例議会初日、午後から傍聴に行きました。四名の議員さんの質問があり、それぞれ質問項目について周到な調査がなされており敬意を表したいと思います。

これ迄は、先ず町長さんの総括的な答弁があり、その後詳細に亘つては担当課長の答弁がなされていた様に思います。

しかしながら当日は、町長さんの答弁はあまり無く、主として課長さんの答弁が多く感じられました。傍聴者としては、質問に対する町長さんの基本的なお考えを聴きたく思っています。議会の運営方式がこれ迄よりは変わったのでしょうか。

私の素朴な疑問を述べてみました。隣席でもそんなさやきが聞こえていました。



表紙の写真

### 【若者で賑わう新庄夜市】

幸いにも梅雨の合間をぬって、恒例の新庄夜市が開催されました。浴衣姿やTシャツの若者、そして小倉山城の城下ならではの城の模型や大チョーテンなど多彩な演出でフィーバーしました。



ともすれば気むづかしい難題課題をかかえる町政についての質問の中に、ほっとする質問がありました。

北広島町にとって真の人間性に富んだ教育、伝統文化、また守り継がれた良き工芸品の伝承など、心豊かな田舎暮らしについての質問です。

施策の重要性を認識し、お互いに知恵を出し合うというやりとりで好印象を受け、良い町づくりができると思いました。

(意見箱より)

## あとがき

合併して一年半余りが、過ぎてまいりました。

議会広報も町民皆様に分かりやすく、読みやすいものになるよう取り組んできましたが、今回の発刊に当り、「内容をより充実したものに変わって」との意見を基に、新しく「追跡レポート」という項目を取り入れました。また意見箱の中からも貴重なご意見を記載させていただきます。

皆様にご愛読いただけるよう、今後も頑張ってみりますので、宜しくお願い致します。

